

7 ニホンヒキガエル

(ヒキガエル科)

兵庫県ランク:C

Bufo japonicus japonicus

環境省ランク:-

種の概要

日本の固有種ニホンヒキガエルの基準亜種で、近畿地方以西の本州、四国、九州と周辺離島に分布。成体の頭胴長は80～180mm程度。全身に疣があり、眼の後方には耳腺がある。鼓膜の直径は、眼と鼓膜の距離とほぼ同じか、より小さい。



県内における生息状況及びその他特記事項

瀬戸内海の沿岸地方から分水嶺の周辺にかけて分布する。これに対し日本海側の集団は別亜種アズマヒキガエルに同定されることもあるが、ここで豊岡市、香美町、新温泉町の集団も鼓膜の相対的な大きさ等の特徴から、基準亜種としておく。

写真提供: 西川 完途

保護上の留意点

繁殖期以外は比較的水から離れた林床等において、ミミズや昆虫などを食べている。森林伐採に伴う土壌の裸出、乾燥化に伴い個体数が減少し、生息範囲が狭まっていると思われ、伊丹市のようにかつては生息記録がありながら、今は見られない場所もある。

県内分布

神戸市、西宮市、加古川市、小野市、多可町、姫路市、宍粟市、神河町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

